

次世代育成支援に関する ニーズ調査結果(速報)

平成 26 年2月

茨 木 市

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「茨木市次世代育成支援行動計画（第3期）」（計画期間：平成27年～平成31年）を策定する資料として、本市における、教育・保育、子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に、実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：茨木市全域
- 調査対象者：茨木市内在住の就学前児童の保護者
茨木市内在住の小学生の保護者
中学生・高校生本人
- 抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童の保護者 2,000 人、小学生の保護者 2,000 人の合計 4,000 人を無作為抽出
茨木市立中学校全 14 校 2 年生各 1 クラス、大阪府立高等学校 6 校 2 年生各校 2 クラス、支援学校高等部 2 年生
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法
中学生用調査については学校を通じて直接配布、直接回収
- 調査期間：平成 25 年 12 月 11 日（水）～平成 25 年 12 月 26 日（木）
- 回収率：

調査票	配布数 (件)	回収数 (件)	回収率 (件)
就学前児童用調査	2,000	1,034	51.7%
小学生用調査	2,000	958	47.9%
合計	4,000	1,992	49.8%

中学生・高校生については計 973 人から回収

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長文は簡略化している場合があります。

Ⅱ. 主な調査結果

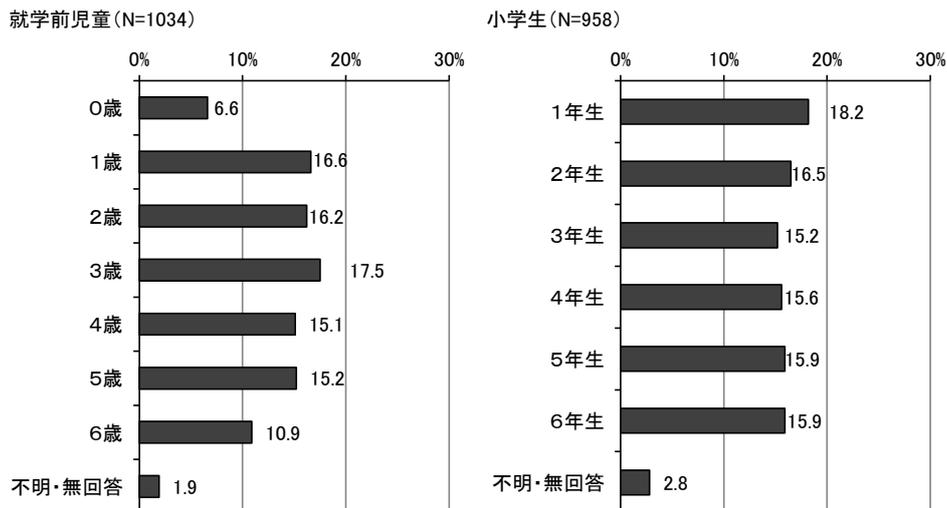
ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

(1) 対象の子どもの年齢と学年〈数量回答〉

〔就学前児童・小学生…問3〕

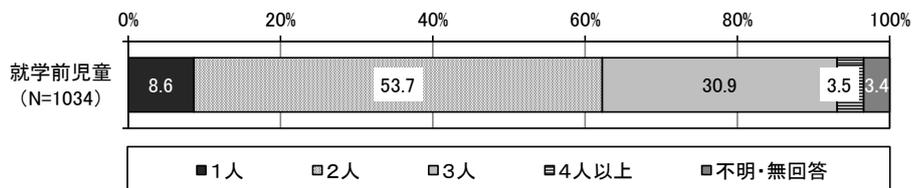
就学前児童は、「3歳」が17.5%、「1歳」が16.6%、「2歳」が16.2%となっています。

小学生は、「1年生」が18.2%、「2年生」が16.5%、「5年生」と「6年生」がともに15.9%となっています。



(2) 希望の子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童…問5〕

希望の子どもの人数についてみると、「2人」が53.7%、「3人」が30.9%となっています。

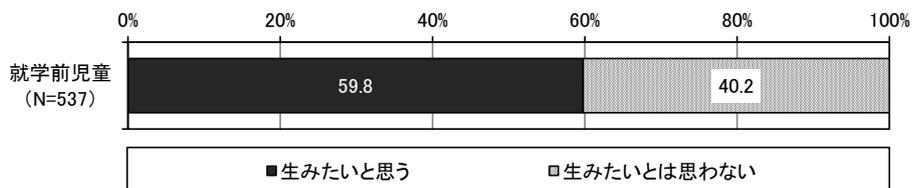


希望するお子さんの数が現在のお子さんの数より多い方

(3) 現在の環境においても、もう1人以上子どもを生みたいか〈単数回答〉

〔就学前児童…問6〕

現在の環境においても、もう1人以上子どもを生みたいかについては、「生みたいと思う」が59.8%、「生みたいとは思わない」が40.2%となっています。

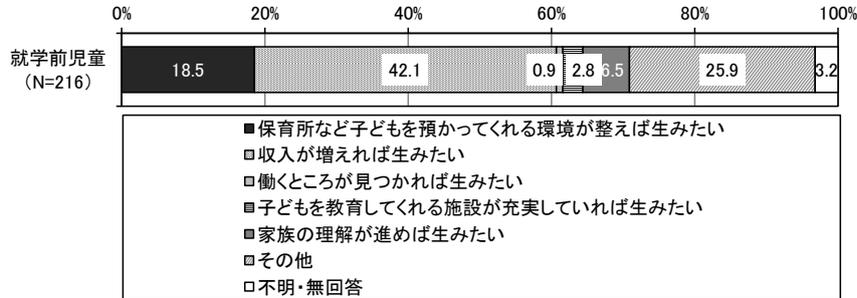


(3)で「生みたいとは思わない」を選んだ方

(4)どのような環境を整えば、もう1人以上子どもを生みたいか〈単数回答〉

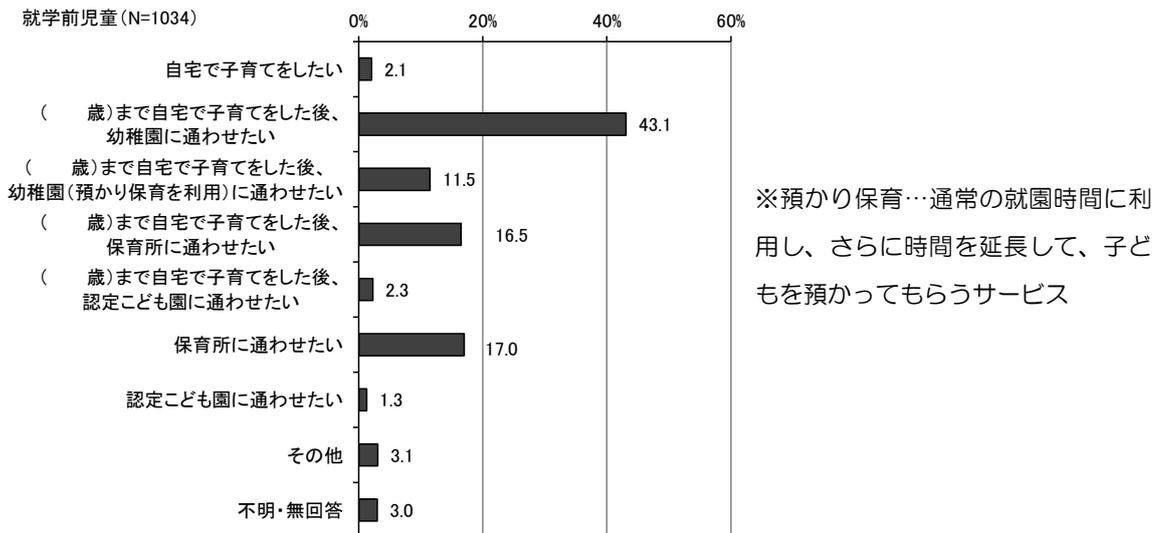
〔就学前児童…問6-1〕

どのような環境を整えば、もう1人以上子どもを生みたいかについては、「収入が増えれば生みたい」が42.1%と最も高くなっています。



(5)希望する子育ての環境〈単数回答〉〔就学前児童…問9〕

希望する子育ての環境については、「自宅で子育てをした後、幼稚園に通わせたい」が43.1%と最も高く、次いで「保育所に通わせたい」が17.0%となっています。



希望する子どもの年齢

希望する子どもの年齢については、幼稚園、幼稚園(預かり保育を利用)、認定こども園では「3歳」が最も高くなっています。また、保育所については、「1歳」が最も高くなっています。

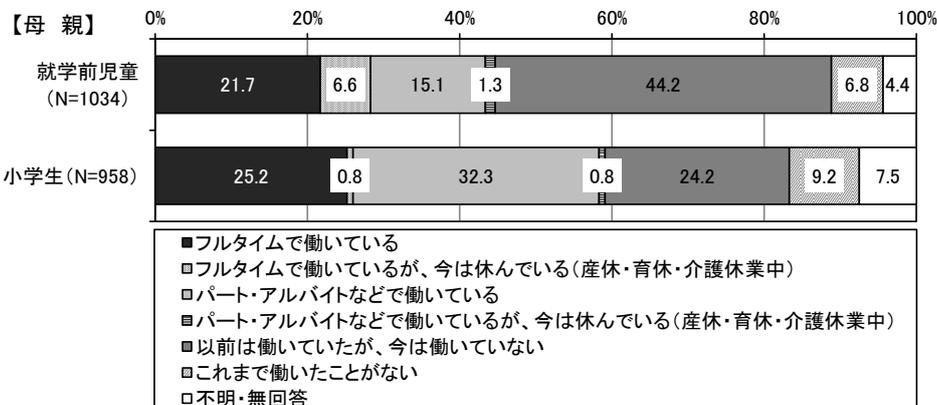
上段:度数 下段:%	合計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	不明・無回答
合計	760	2	84	124	444	94	6	3	3
(歳)まで自宅で子育てをした後、幼稚園に通わせたい	100	0.3	11.1	16.3	58.4	12.4	0.8	0.4	0.4
(歳)まで自宅で子育てをした後、幼稚園(預かり保育を利用)に通わせたい	119	-	2	19	78	18	2	-	-
(歳)まで自宅で子育てをした後、保育所に通わせたい	100	-	1.7	16.0	65.5	15.1	1.7	-	-
(歳)まで自宅で子育てをした後、認定こども園に通わせたい	171	2	76	48	40	2	-	2	1
(歳)まで自宅で子育てをした後、保育所に通わせたい	100	1.2	44.4	28.1	23.4	1.2	-	1.2	0.6
(歳)まで自宅で子育てをした後、認定こども園に通わせたい	24	-	5	8	10	1	-	-	-
(歳)まで自宅で子育てをした後、認定こども園に通わせたい	100	-	20.8	33.3	41.7	4.2	-	-	-

(6) 母親の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童…問 12、小学生…問 9〕

母親の就労状況について、就学前児童では「以前は働いていたが、今は働いていない」が44.2%、小学生では「パート・アルバイトなどで働いている」が32.3%と最も高くなっています。

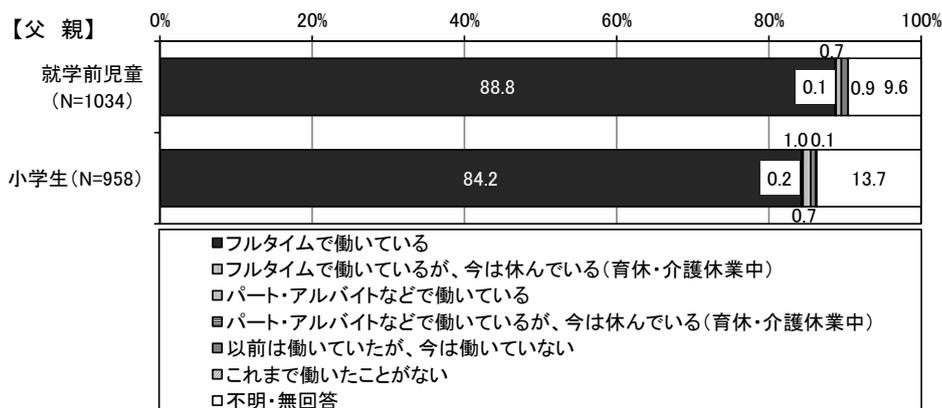
※フルタイム…1週間に5日程度、1日に8時間程度の就労

※パート・アルバイト…フルタイム居合の就労



(7) 父親の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童…問 13、小学生…問 10〕

父親の就労状況について、就学前児童、小学生ともに「フルタイムで働いている」が最も高く、それぞれ88.8%、84.2%となっています。

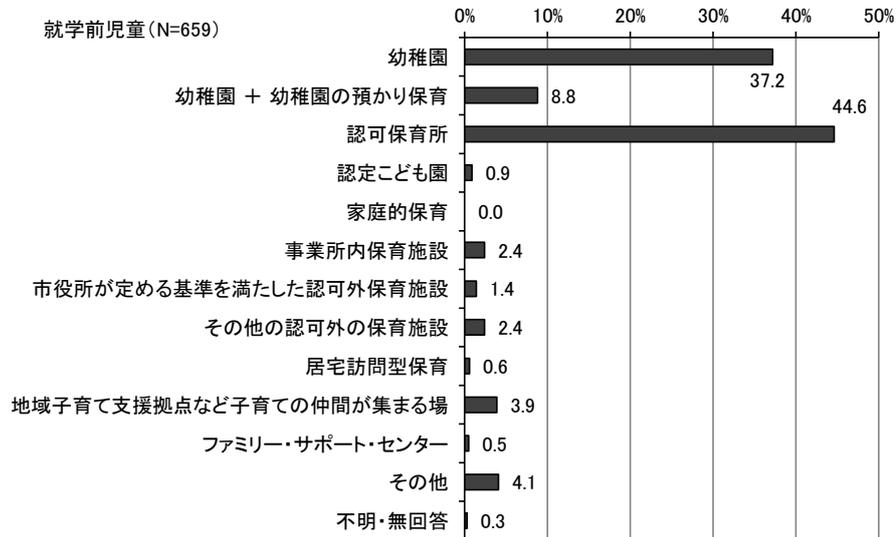


父親の就労状況	就学前児童 (%)	小学生 (%)
フルタイムで働いている	88.8	84.2
フルタイムで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)	0.1	0.2
パート・アルバイトなどで働いている	0.7	1.0
パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(育休・介護休業中)	0.0	0.0
以前は働いていたが、今は働いていない	0.9	0.7
これまで働いたことがない	0.0	0.1

平日に定期的に利用している施設やサービスについて

(1) 平日に定期的に利用している施設やサービス〈複数回答〉〔就学前児童…問 16-2〕

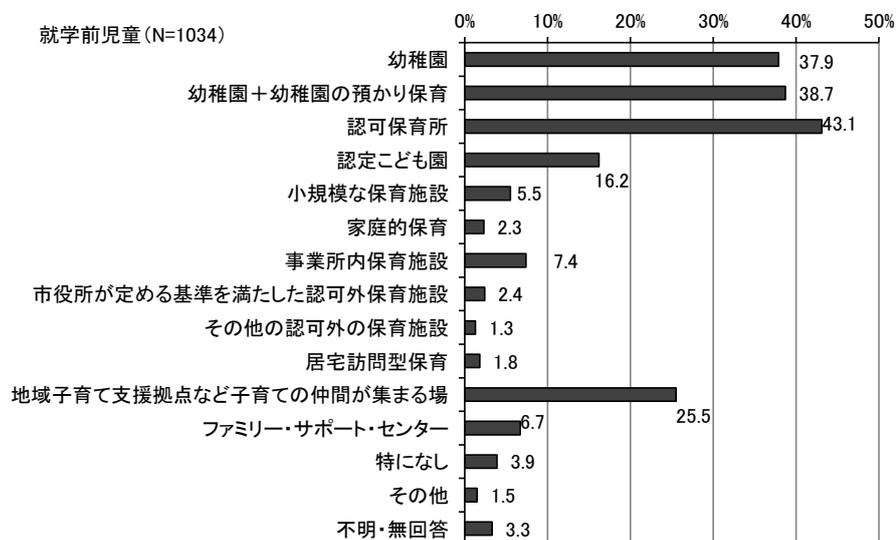
平日に定期的に利用している施設やサービスについて、「認可保育所」が44.6%と最も高く、次いで「幼稚園」が37.2%となっています。



平日に定期的に利用したい施設やサービスについて

(1) 平日に定期的に利用したい施設やサービス〈複数回答〉〔就学前児童…問 18〕

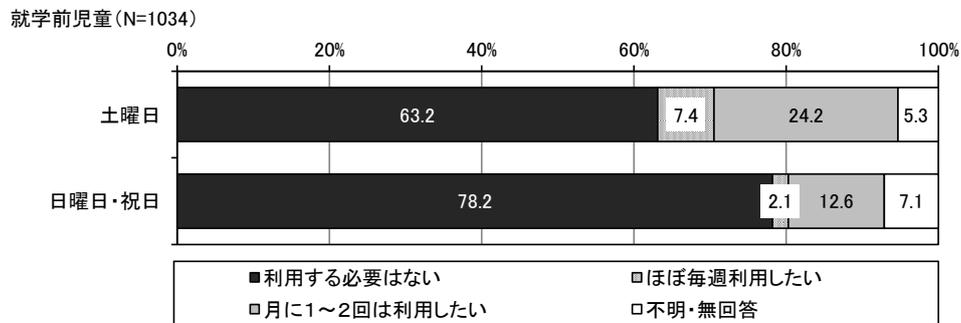
平日に定期的に利用したい施設やサービスについて、「認可保育所」が43.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が38.7%となっています。



幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日の利用希望について

(1) 現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童…問 19〕

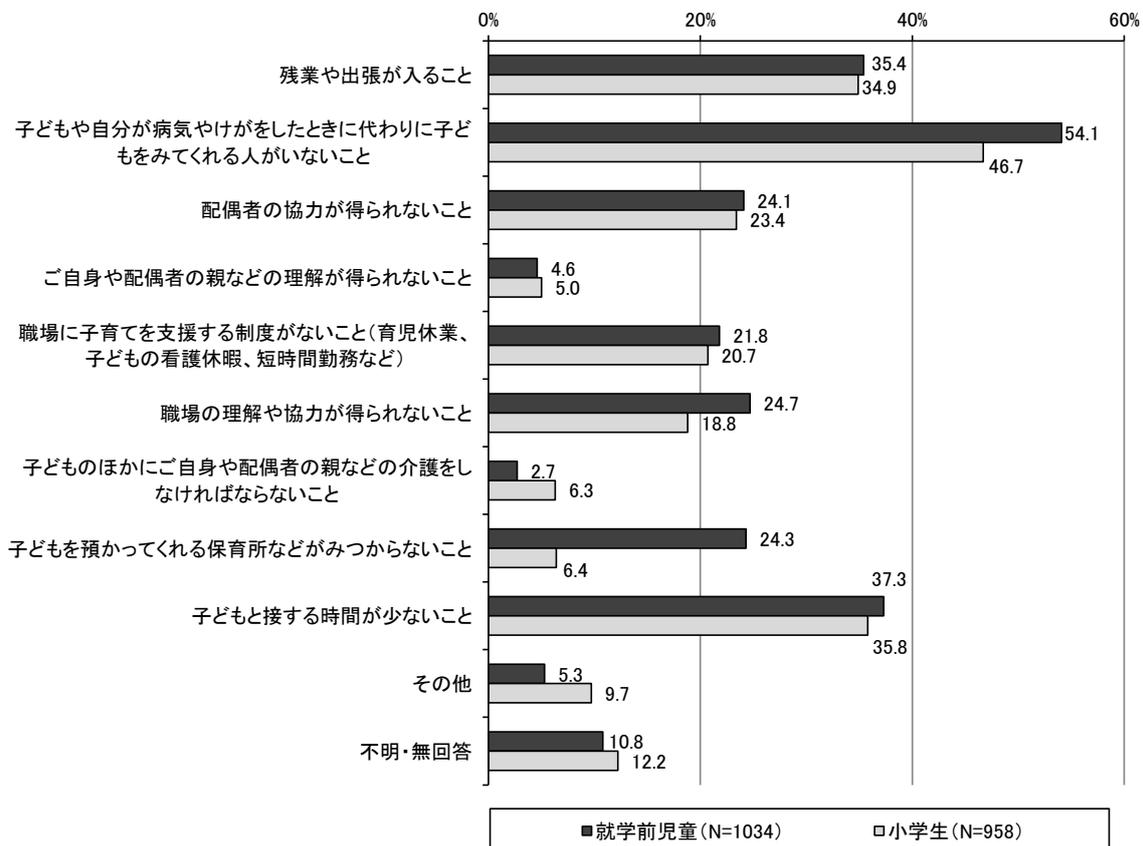
幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日の利用希望について、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ63.2%、78.2%となっています。



仕事と子育ての両立について

(1) 仕事と子育てを両立させる上での課題〈複数回答〉〔就学前児童…問 24、小学生…問 21〕

仕事と子育てを両立させる上での課題について、就学前児童・小学生ともに「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと」が最も高く、それぞれ54.1%、46.7%となっていて、次いで「子どもと接する時間が少ないこと」が37.3%、35.8%となっています。

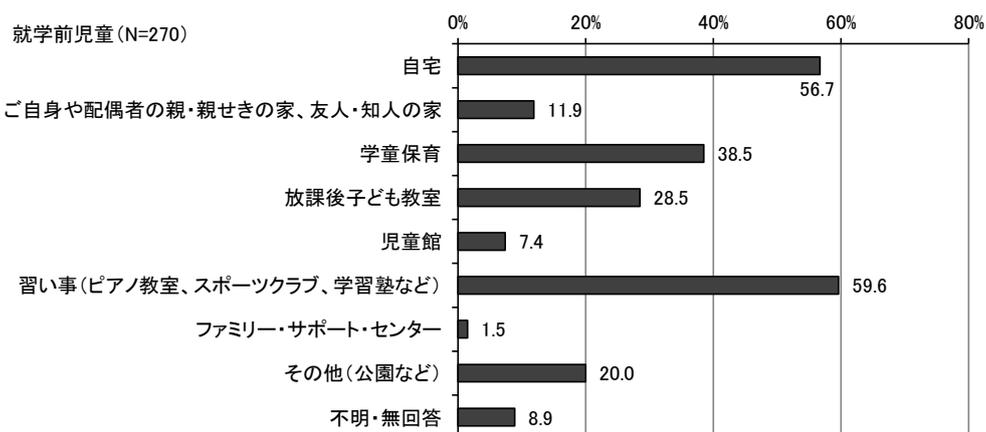


小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 希望する小学校低学年の放課後の過ごし方〈複数回答〉〔就学前児童…問 25〕

希望する小学校低学年の放課後の過ごし方について、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が59.6%と最も高く、次いで「自宅」が56.7%となっています。

利用を希望する日数については、「習い事」では『2日』、「自宅」では『3日』、「学童保育」では『5日』が高くなっています。また、「学童保育」を希望する時間については、『17時台』が最も高くなっています。



【就学前児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		人親・知人せきの家、友人		学童保育		放課後子ども教室		児童館		習い事 (ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)		ファミリー・サポート・センター		その他 (公園など)	
	N=153		N=32		N=104		N=77		N=20		N=161		N=4		N=54	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	28	18.3	13	40.6	4	3.8	43	55.8	9	45.0	50	31.1	2	50.0	18	33.3
2日	37	24.2	8	25.0	14	13.5	17	22.1	4	20.0	79	49.1	1	25.0	24	44.4
3日	41	26.8	2	6.3	8	7.7	6	7.8	2	10.0	26	16.1	1	25.0	4	7.4
4日	9	5.9	1	3.1	10	9.6	2	2.6	0	0.0	1	0.6	0	0.0	1	1.9
5日	30	19.6	5	15.6	65	62.5	2	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	7.4
不明・無回答	8	5.2	3	9.4	3	2.9	7	9.1	5	25.0	5	3.1	0	0.0	3	5.6

【就学前児童】 小学校低学年 利用希望時間	学童保育 (N=210)	
	件数	%
16時台	6	5.8
17時台	49	47.1
18時台	27	26.0
19時台	17	16.3
20時台	2	1.9
不明・無回答	3	2.9

※学童保育…保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。小学校内にある学童保育及び市が補助する民間の学童保育で、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が必要となります。

※放課後子ども教室…地域のみなさんの協力により、放課後や週末に小学校で、学習、スポーツ、文化芸術活動などを校区の実情に合わせ体験するものです。すべての小学生が利用できます。(教室により実施状況は異なります)
※児童館…児童の遊びの指導をする指導員がいて、遊びを通して心身ともに健やかな成長を助ける施設です。なお、茨木市には現在設置されていませんが、需要把握のため選択肢として設定しています。

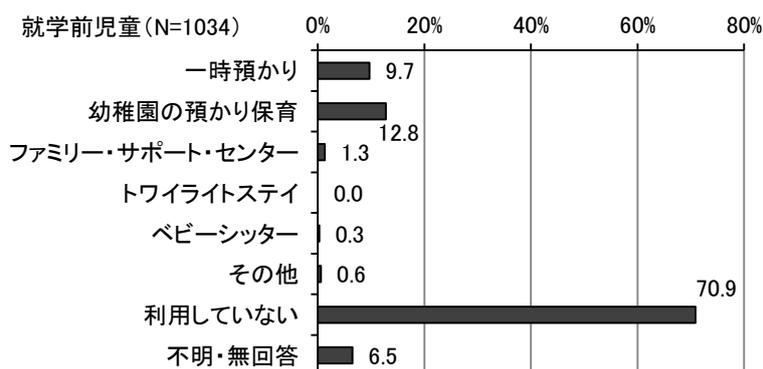
※ファミリー・サポート・センター…センターに登録している近所の人子どもを見てくれるサービス

子どもを預かるサービスの不規則な利用について

(1) 不規則に利用した子どもを預かるサービス〈複数回答〉〔就学前児童…問 32〕

不規則に利用した子どもを預かるサービスについて、「利用していない」が70.9%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が12.8%となっています。

利用日数については、「幼稚園の預かり保育」、「一時預かり」とともに『1日～2日』が最も高くなっています。

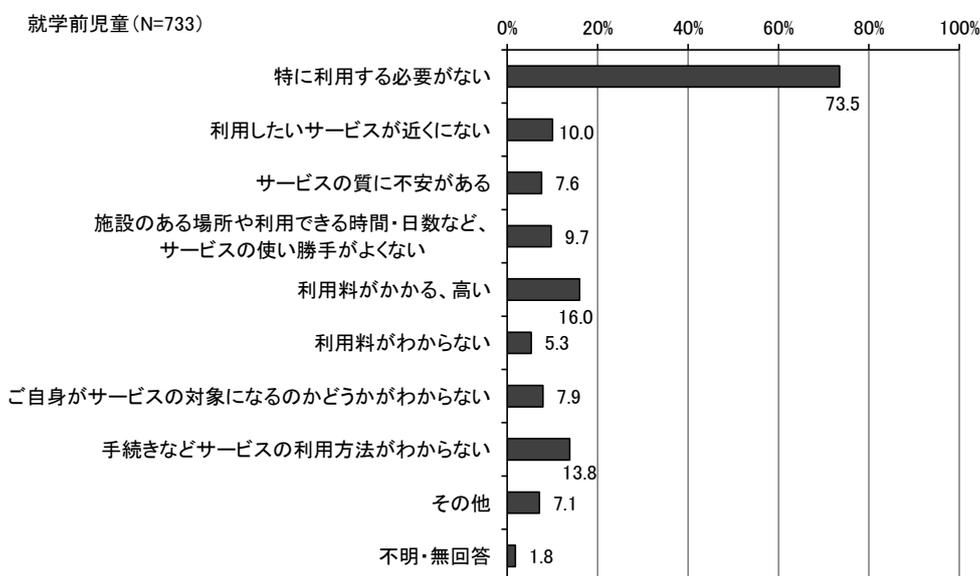


【就学前児童】 1年間の 利用日数	一時預かり		幼稚園の預かり保育		ファミリー・サポート・センター		ベビーシッター		その他	
	N=100		N=132		N=13		N=3		N=6	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日～2日	40	40.0	24	18.2	2	15.4	1	33.3	2	33.3
3日～5日	29	29.0	28	21.2	4	30.8	1	33.3	1	16.7
6日～10日	11	11.0	28	21.2	3	23.1	0	0.0	0	0.0
11日～20日	6	6.0	17	12.9	1	7.7	0	0.0	0	0.0
21日～30日	5	5.0	13	9.8	0	0.0	0	0.0	1	16.7
31日以上	5	5.0	16	12.1	3	23.1	0	0.0	1	16.7
不明・無回答	4	4.0	6	4.5	0	0.0	1	33.3	1	16.7

(1) で「利用していない」を選んだ方

(2) 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童…問 32-1〕

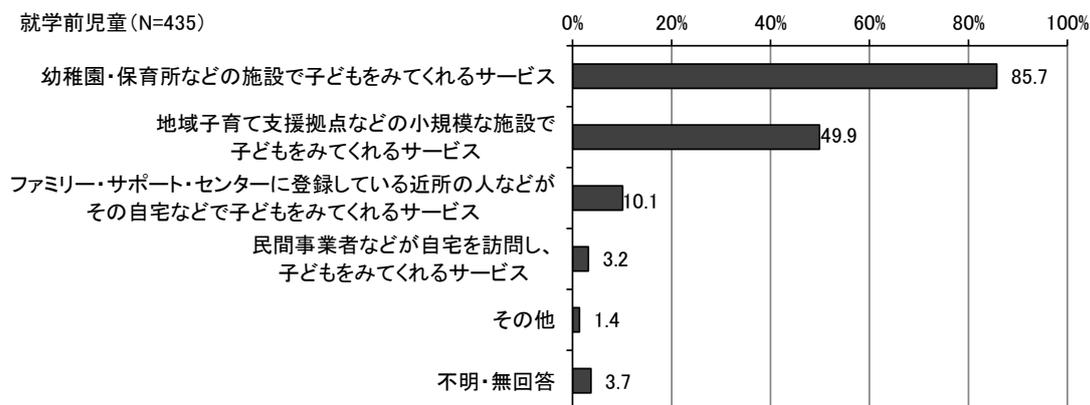
現在利用していない理由について、「特に利用する必要がない」が73.5%と最も高く、次いで「利用料がかかる」が16.0%となっています。



(3) 一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービス〈複数回答〉

〔就学前児童…問 33-1〕

一時預かりを利用したい場合に希望する子育て支援サービスについて、「幼稚園・保育所などの施設で子どもをみてるサービス」が85.7%、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設で子どもをみてるサービス」が49.9%となっています。



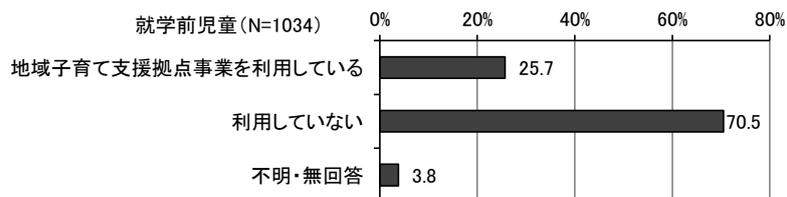
地域の子育て支援サービスの利用状況について

(1) 地域子育て支援拠点事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童…問 35〕

地域子育て支援拠点事業の利用について、「利用していない」が70.5%、「地域子育て支援拠点事業を利用している」が25.7%となっています。

「地域子育て支援拠点事業」の利用回数について、1週あたりでは『1回』、1ヶ月あたりでは『1回～2回』が最も高くなっています。

※地域子育て支援拠点事業…親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「地域子育て支援センター」などと呼ばれています。



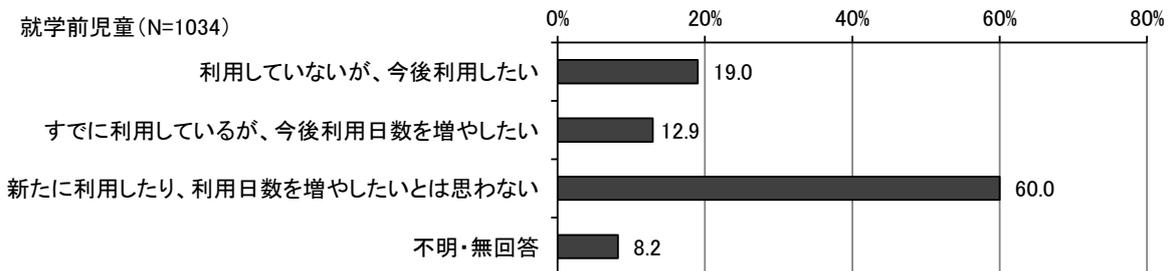
【就学前児童】 1週あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=266)	
	件数	%
1回	43	16.2
2回	17	6.4
3回	6	2.3
4回	3	1.1
5回	2	0.8
不明・無回答	195	73.3

【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業 (N=266)	
	件数	%
1回～2回	154	57.9
3回～5回	34	12.8
6回～10回	5	1.9
11回～15回	2	0.8
16回～20回	1	0.4
不明・無回答	70	26.3

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童…問 36〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が60.0%、「利用していないが、今後利用したい」が19.0%となっています。

「利用していないが、今後利用したい」回数について、1週あたりでは『1回』、1ヶ月あたりでは『1回～2回』が最も高くなっています。

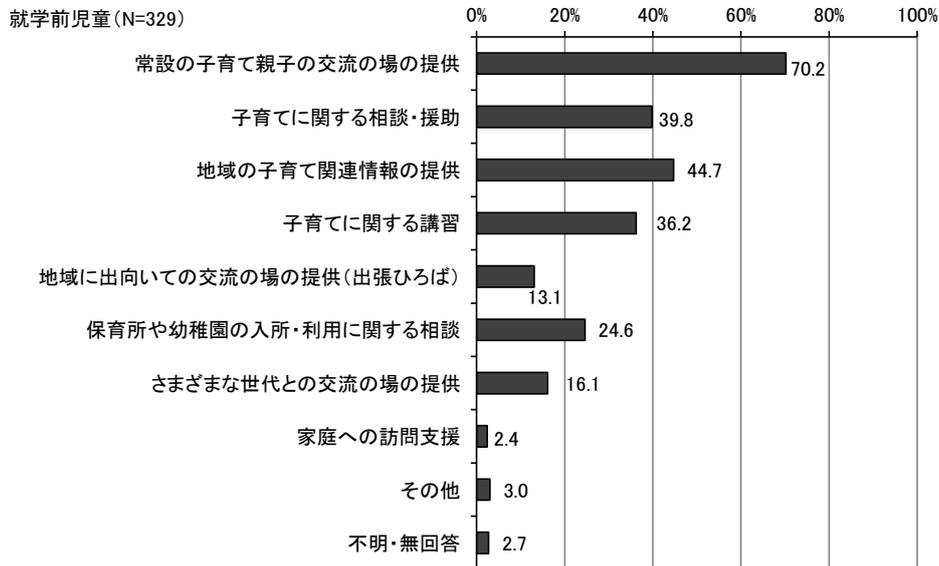


【就学前児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=196)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=133)	
	件数	%	件数	%
1回	40	20.4	32	24.1
2回	9	4.6	13	9.8
3回	4	2.0	7	5.3
4回	0	0.0	2	1.5
5回	1	0.5	3	2.3
不明・無回答	142	72.4	76	57.1

【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=196)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=133)	
	件数	%	件数	%
1回～2回	104	53.1	40	30.1
3回～5回	19	9.7	29	21.8
6回～10回	5	2.6	10	7.5
11回～15回	1	0.5	4	3.0
16回～20回	0	0.0	2	1.5
不明・無回答	67	34.2	48	36.1

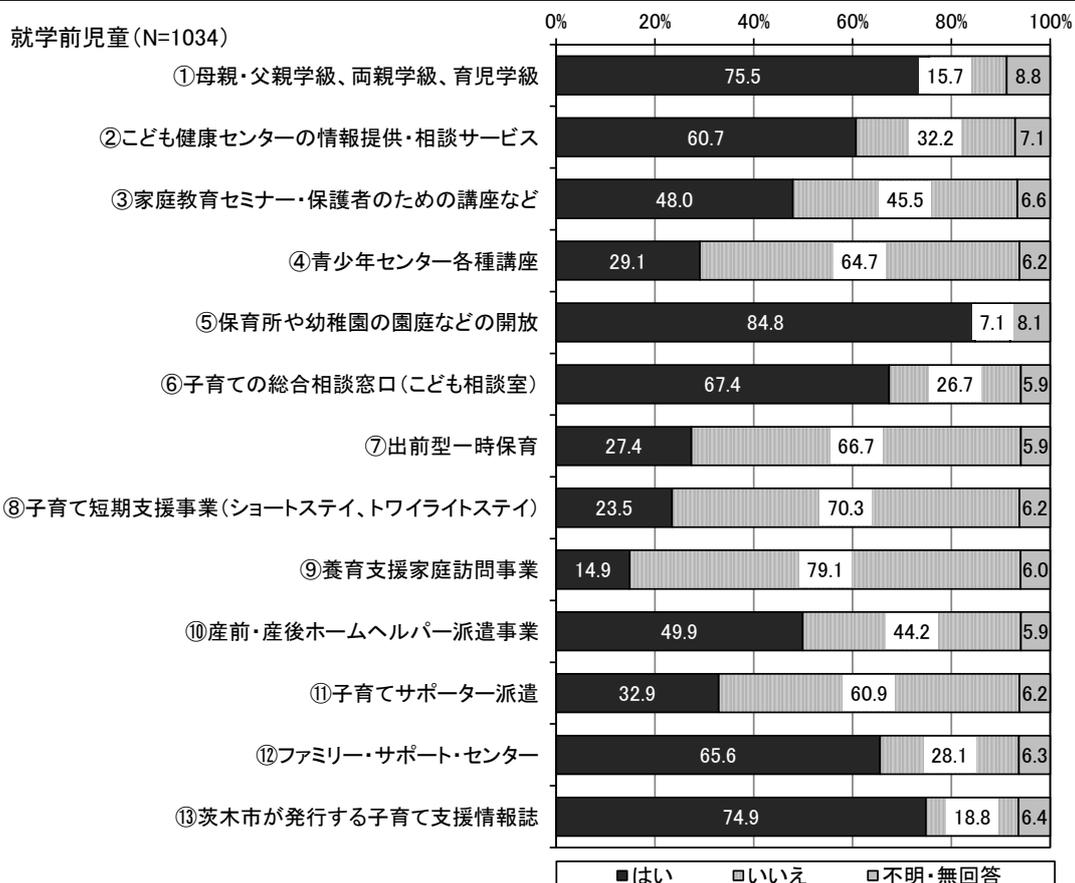
(3) 利用したい地域子育て支援拠点事業のサービス〈複数回答〉〔就学前児童…問 36-1〕

利用したい地域子育て支援拠点事業のサービスについて、「常設の子育て親子の交流の場の提供」が70.2%、次いで「地域の子育て関連情報の提供」が44.7%、「子育てに関する相談・援助」が39.8%となっています。



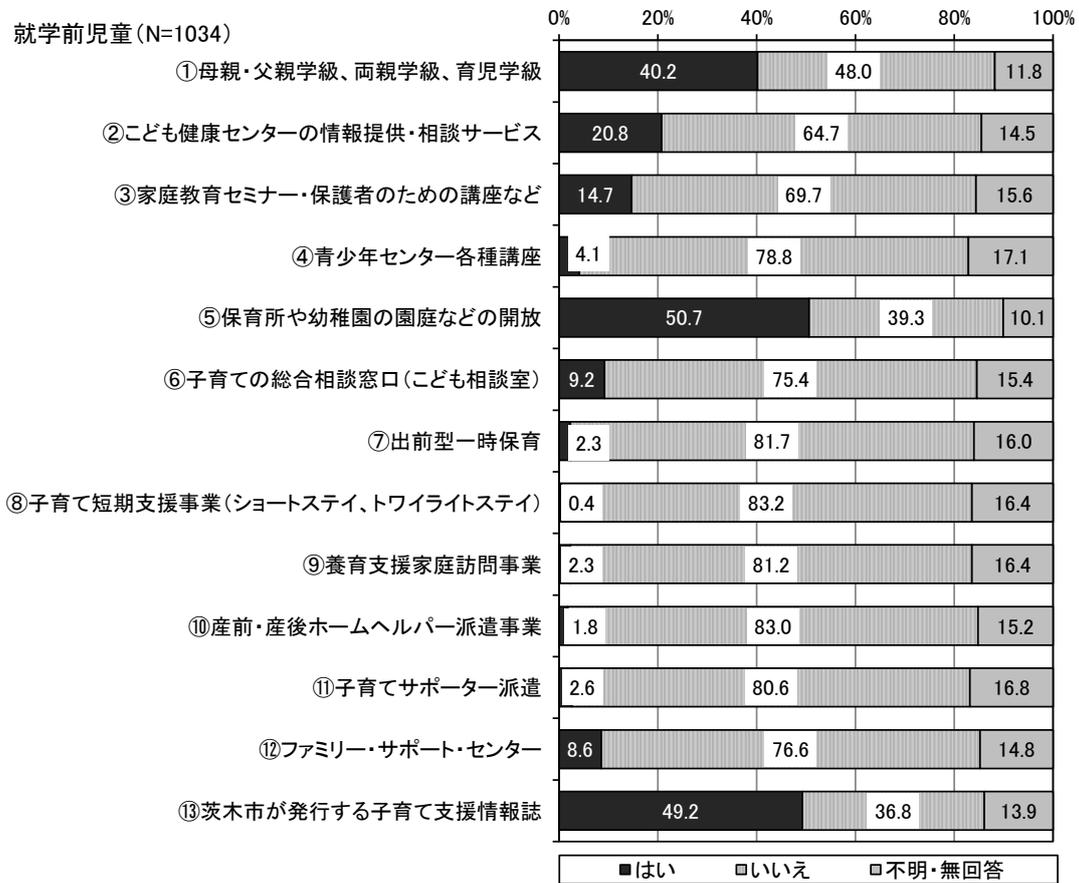
(4) 子育て支援サービスの認知度〈単数回答〉〔就学前児童…問 37〕

子育て支援サービスの認知度について、「⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放」が84.8%と最も高く、次いで「①母親・父親学級、両親学級、育児学級」が75.5%となっている一方で、「⑨養育支援家庭訪問事業」が14.9%と最も低くなっています。



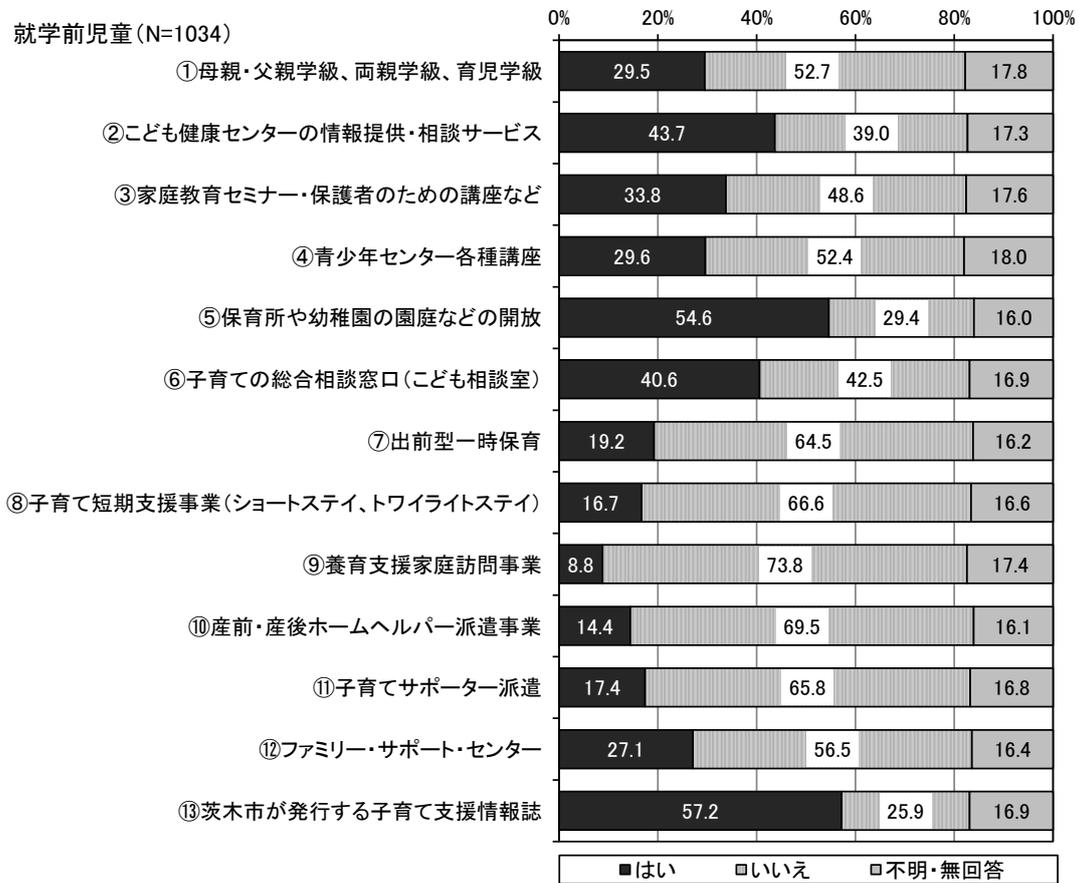
(5) 子育て支援サービスの利用経験〈単数回答〉〔就学前児童…問 37〕

子育て支援サービスの利用経験について、「⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放」が50.7%と最も高く、次いで「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌」が49.2%となっている一方で、「⑧子育て短期支援事業（ショートステイ、トワイライトステイ）」が0.4%と最も低くなっています。



(6) 子育て支援サービスの利用希望〈単数回答〉〔就学前児童…問 37〕

子育て支援サービスの利用希望について、「⑬茨木市が発行する子育て支援情報誌」が57.2%と最も高く、次いで「⑤保育所や幼稚園の園庭などの開放」が54.6%となっている一方で、「⑨養育支援家庭訪問事業」が8.8%と最も低くなっています。



市役所などへの要望について

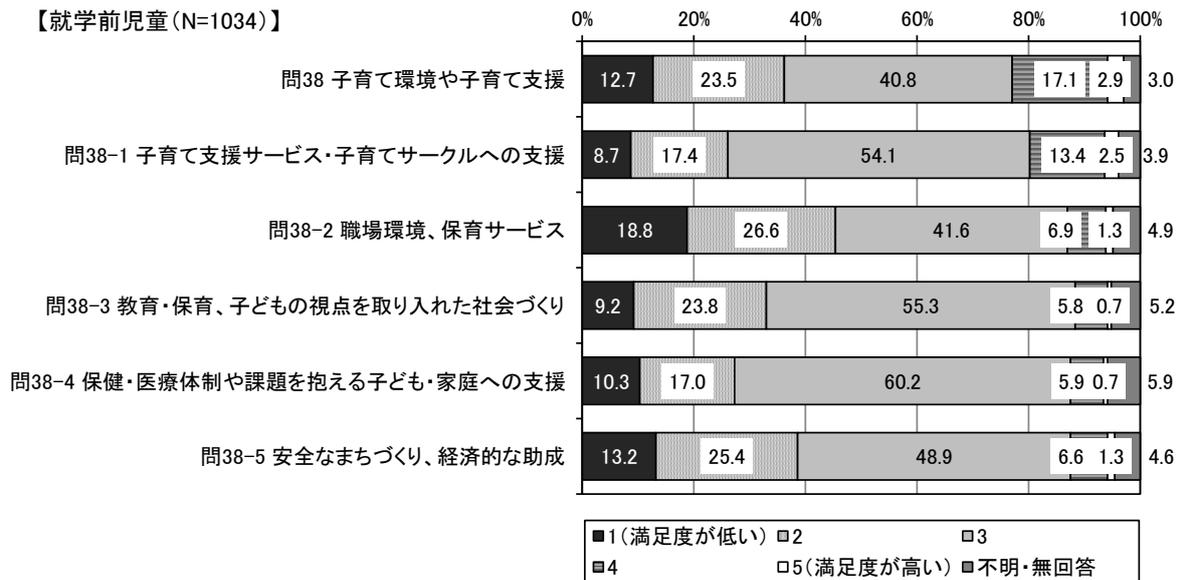
(1) 茨木市における子育てに関する満足度〈単数回答〉

〔就学前児童…問 38～38-5、小学生…問 22-1～22-5〕

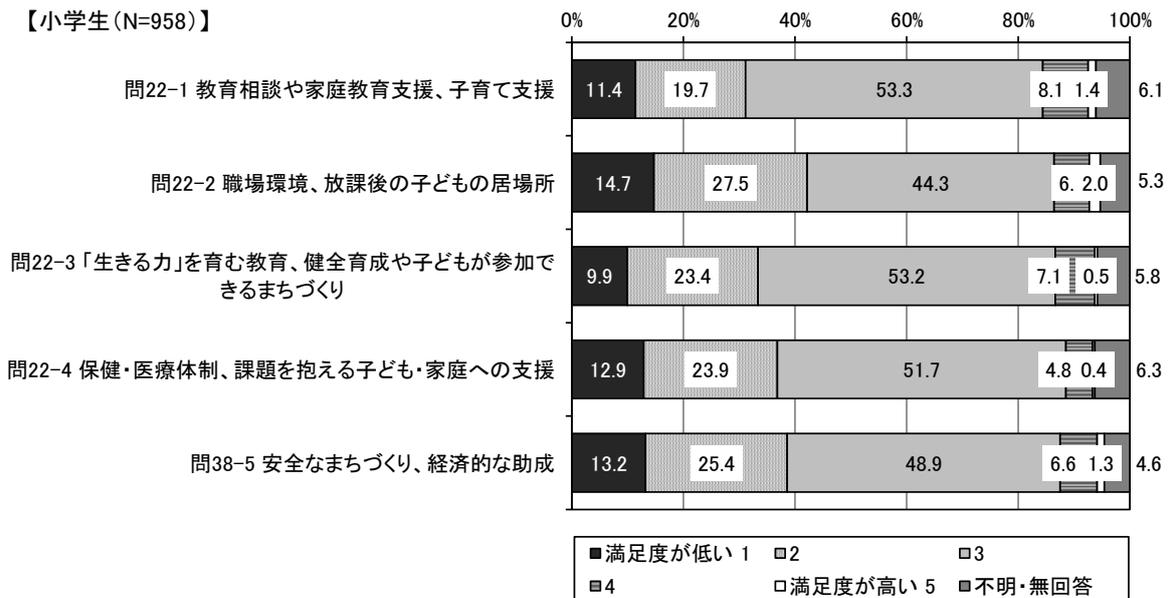
茨木市における子育てに関する満足度について、就学前児童においては全体的に「3」の割合が高くなっているなかで、「職場環境、保育サービス」では特に満足度が低くなっています。

また、小学生においても全体的に「3」の割合が高くなっているなかで、「職場環境、放課後の子どもの居場所」の満足度が低くなっています。

【就学前児童(N=1034)】



【小学生(N=958)】



子どもの生活習慣について

(1) 子どもの生活習慣〈単数回答〉〔就学前児童…問 40、小学生…問 23〕

子どもの生活習慣について、就学前児童において、小学生と比べて朝ご飯を「毎日食べる」割合が低くなっています。

また、小学生において、就学前児童と比べて就寝時刻では「20時半～21時」、「21時半～22時」の割合が高いなど就寝時刻が遅くなっています。

